

大学教育再生加速プログラム（AP） 事後評価調書

【公表】

1. 整理番号	53
2. 大学等名	文化学園大学
3. テーマ	IV. 長期学外学修プログラム（ギャップイヤー）
4. 取組学部等名	服装学部(ファッションクリエイション学科、ファッション社会学科) 造形学部(デザイン・造形学科、建築・インテリア学科) 現代文化学部(国際文化・観光学科、国際ファッション文化学科、応用健康心理学科)
5. 事業期間	平成27年度～令和元年度（5年間）

【公表】

8. 事業の概要(※400字以内)	(397文字)
<p>クリエイティブ・ファッション分野はグローバル化が急がれる領域である。本学は、「新しい美と文化の創造」を建学の精神とし、日本国内にとどまらずグローバルに活躍できる人材の育成を目指している。このためには、グローバル意識を持たせるような教育が不可欠であり、大学入学後早期（1・2年次）に中長期にわたる異文化を知る海外学外学修や我が国の伝統や文化を理解する国内学外学修が有効である。しかし、中長期期間をとりカリキュラム化することは現在の学事暦では困難である。本事業においては、学事歴を考慮した上で後期試験終了後（2月中旬）から春期休暇（3月中旬）までの期間の約1カ月を「梅春学期」として新設する。本事業は、1年次及び2年次を中心に集中的な学外体験プログラムを提供し、3年次におけるより専門的な学外学修プログラムに役立て、結果としてファッション分野における「グローバル創造力」を養成できるようにするものである。</p>	